

厚生常任委員会資料 (当初)

令和 7 年 3 月 1 1 日
病院局

1 予算議案

○議案第20号

「令和7年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要 . . . 4 - 16

2 特別議案

○議案第28号

宮崎県立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 . . . 17

○議案第47号

宮崎県病院局専攻医研修資金貸与条例の一部を改正する条例 . . . 18

1 予算議案

【議案第20号】

「令和7年度宮崎県立病院事業会計予算」の概要

経営管理課

(1) 予算案の概要

物価高騰など経営環境の悪化に対応するため、「宮崎県病院事業経営計画2021(R6.3改定)」に基づく、経営改革を加速するとともに、救急医療や高度・急性期医療など、県民に高度で良質な医療を安定的に提供するための予算案

(2) 予算案のポイント

① 予算規模（支出合計）

55,582,972千円（対前年度 ▲1,181,061千円）

※ 収益的支出(5ページ)と資本的支出(7ページ)の合計

② 主な新規・重点事業

- ・ 県立延岡病院手術支援ロボット導入事業 349,910千円
- ・ 県立病院薬剤師勤務環境改善事業 176,082千円
- ・ 県立宮崎病院再整備事業 523,633千円

(3) 業務の予定量

① 許可病床数 1,193床

② 年間患者数

（単位：人）

区 分	令和7年度当初予算案	
	年間患者数	一日平均患者数
入 院	341,187	935
外 来	377,832	1,561
合 計	719,019	2,496

1 予算議案

(4) 収益的収支

① 事業合計

収支差は25億7,320万円の赤字、償却前損益は1億5,775万円の黒字

- ・ 給与費は、令和6年度給与改定により +1,373,851千円(+7.0%)
- ・ 材料費は、医業収益や手術件数の増加等を踏まえ +1,254,026千円(+10.2%)
- ・ 経費は、賃金上昇や物価高騰により +426,922千円(+6.0%)

(単位：千円)

区 分	令和7年度当初予算案	令和6年度当初予算	増 減
病院事業収益	45,220,774	42,599,038	2,621,736
医業収益	37,943,880	36,610,988	1,332,892
入院収益	26,780,534	25,620,114	1,160,420
外来収益	10,135,036	9,927,467	207,569
一般会計負担金	601,973	650,815	▲48,842
その他	426,337	412,592	13,745
医業外収益	7,276,894	5,988,050	1,288,844
一般会計負担金	4,601,353	3,711,043	890,310
長期前受金戻入	2,440,926	2,064,832	376,094
その他	234,615	212,175	22,440
特別利益	0	0	0
病院事業費用	47,793,977	44,215,573	3,578,404
医業費用	47,149,173	43,602,451	3,546,722
給与費	20,904,042	19,530,191	1,373,851
材料費	13,587,629	12,333,603	1,254,026
経費	7,573,340	7,146,418	426,922
減価償却費	4,770,524	4,235,362	535,162
その他	313,638	356,877	▲43,239
医業外費用	641,804	610,122	31,682
特別損失	0	0	0
予備費	3,000	3,000	0
収支差	▲2,573,203	▲1,616,535	▲956,668
償却前損益	157,745	974,614	▲816,869

1 予算議案

② 病院別収益的収支

(単位：百万円)

区 分	宮崎病院			延岡病院			日南病院		
	令和7年度 当初予算案	令和6年度 当初予算	増減	令和7年度 当初予算案	令和6年度 当初予算	増減	令和7年度 当初予算案	令和6年度 当初予算	増減
病院事業収益	22,139	20,657	1,482	16,094	15,101	993	6,987	6,841	146
入院収益	12,576	11,645	931	10,067	9,765	302	4,138	4,210	▲72
外来収益	5,474	5,409	65	3,316	3,181	135	1,345	1,338	7
一般会計負担金	2,666	2,307	359	1,682	1,318	364	855	737	118
その他	1,423	1,296	127	1,029	837	192	649	556	93
病院事業費用	23,175	21,530	1,645	16,371	14,887	1,484	8,247	7,798	449
給与費	9,752	9,165	587	6,986	6,428	558	4,167	3,937	230
材料費	6,979	6,194	785	5,159	4,671	488	1,449	1,468	▲19
経費	3,335	3,093	242	2,628	2,474	154	1,610	1,580	30
その他	3,109	3,078	31	1,598	1,314	284	1,021	813	208
収支差	▲1,036	▲874	▲163	▲277	214	▲491	▲1,260	▲957	▲303
償却前損益	764	961	▲197	287	673	▲386	▲893	▲659	▲234

※ 四捨五入の関係で、病院事業収益と病院事業費用の差と収支差が一致しないことがある。

1 予算議案

(5) 資本的収支

収支差は21億 850万円の赤字

- ・ 資本的収入は、一般会計借入金50億円の皆減等により ▲9,724,773千円(▲63.1%)
- ・ 資本的支出は、電子カルテシステム更新の完了等により ▲4,759,465千円(▲37.9%)

(単位：千円)

区 分	令和 7 年度当初予算案	令和 6 年度当初予算	増 減
資本的収入	5,680,495	15,405,268	▲9,724,773
企業債	2,758,800	7,764,500	▲5,005,700
一般会計負担金	2,921,695	2,640,768	280,927
一般会計借入金	0	5,000,000	▲5,000,000
補助金	0	0	0
資本的支出	7,788,995	12,548,460	▲4,759,465
建設改良費	3,417,305	8,096,318	▲4,679,013
改築整備費	561,055	725,211	▲164,156
改良工事費	800,984	1,079,913	▲278,929
資産購入費	1,931,291	6,157,577	▲4,226,286
リース資産購入費	123,975	133,617	▲9,642
企業債償還金	4,334,690	4,415,142	▲80,452
その他	37,000	37,000	0
収支差	▲2,108,500	2,856,808	▲4,965,308

1 予算議案

(6) 主な新規・重点事業

新 県立延岡病院手術支援ロボット導入事業

経営管理課 349,910千円
【財源:補助金、企業債、自主財源】

事業の目的

県北のがん医療提供体制充実を図るため、「宮崎県がん診療指定病院」として県北がん治療の中核的な役割を担う県立延岡病院に手術支援ロボットを導入し、がん医療の地域完結率の向上及び高度化を推進する。

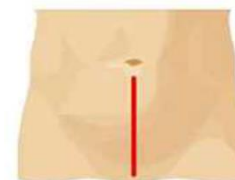
事業の概要

(1) 事業内容

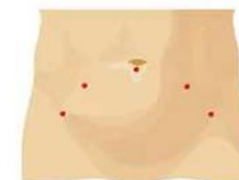
県立延岡病院に手術支援ロボットを導入する。

(2) 事業効果

- ・ 県北地域でのがん治療地域完結率の向上
- ・ 低侵襲医療の拡大(患者負担の軽減)
- ・ 外来化学療法への円滑な移行
- ・ 医療スタッフの負担軽減と人材確保



開腹手術における
切開部



ロボット手術における
切開部

事業の期間

令和7年度

新 県立病院薬剤師勤務環境改善事業

経営管理課 176,082千円
【財源:企業債、自主財源】

事業の目的

県立病院に抗がん薬混合調製ロボット等を導入し、薬剤師の業務負担を軽減するとともに、薬剤師による病棟などでの対人業務等の充実を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

県立病院に抗がん薬混合調製ロボット等を導入する。

①抗がん薬混合調製ロボット 124,800千円（62,400千円×県立2病院（宮崎・延岡））

※薬品の選択確認や分割、計量、混合等の抗がん薬調製業務を行うロボット

②持参薬鑑別支援システム 51,282千円（17,094千円×県立3病院）

※薬品の形状・色調等をモバイル端末で自動解析し、鑑別報告書に反映



(2) 事業効果

①抗がん薬調製や持参薬の鑑別のための長時間の手作業等が不要になり、薬剤師の業務負担を軽減

②薬剤師の病棟業務を充実し、薬物療法の有効性・安全性を向上

③医師等と患者の服薬情報等を早期に共有し、処方等を迅速化

事業の期間

令和7年度

県立宮崎病院再整備事業

経営管理課 523,633千円
【財源:企業債、自主財源】

事業の目的

新病院のグランドオープンに向け、駐車場等の外構を整備する。

事業の概要

- (1) 新病院の概要
鉄骨造地上 8 階建て塔屋 1 階 延床面積47,603m² 外来駐車場台数 約430台（旧病院約380台）
- (2) 総事業費等 363億円（見込み）令和 7 年夏頃事業完了予定



完成イメージ



駐車場整備状況（令和 7 年 2 月末時点）

事業の期間

令和 5 年度～令和 7 年度

1 予算議案

(7) 経営改善に向けた取組状況

1 収益の確保

- 外部コンサルタントを活用した診療報酬制度（DPC制度）への適切な対応

令和6年度 コンサル実施見込回数 35回

宮崎病院：10回（施設基準「緊急整備固定加算」の取得 等）
延岡病院：11回（収益向上・業務効率化に向けた実地調査 等）
日南病院：14回（外部コンサルタントのシミュレーション等を参考にした病棟再編 等）

令和6年度入院・外来収益見込額 対前年度 12億7,500万円増（4.1%増）

※令和6年度診療報酬改定率：0.88%（本体）

宮崎病院：7億 600万円増（4.6%増）
延岡病院：6億6,000万円増（5.9%増）
日南病院：9,100万円減（1.8%減）※主に患者数の減少によるもの

2 費用の節減・見直し

令和6年度効果見込額 2億7,300万円

- 医薬品等の共同購入や専門家を活用した価格交渉による費用節減 1億1,800万円
- 宮崎大学と連携したSPD（物流管理業務）活用による診療材料費削減 1億3,600万円
- 医療機器等の共同調達による費用削減 1,900万円
- 宮崎病院、日南病院で原価計算システム運用開始（令和6年12月～）

1 予算議案

3 各病院の取組

(1) 宮崎病院

- がん医療機能の高度化（IMRT（高度な放射線治療）の導入 等）
 - ・ 令和6年10月：新たな放射線治療医の配置
 - ・ 令和7年3月：IMRT機器設置（令和7年9月頃治療開始見込み）
- 高度な最先端医療の提供
 - ・ ダ・ヴィンチ手術実績：令和6年度見込み：115件（対前年度 ▲ 4件）



(2) 延岡病院

- ハイブリッド手術室の運用
 - ・ 令和6年4月 本格運用開始
 - ・ 心臓カテーテル手術・検査件数：令和6年度見込み：144件
- 外来化学療法提供体制の充実
 - ・ 外来化学療法延べ件数：令和6年度見込み：3,526件（対前年度 +97件）



(3) 日南病院

- 病院機能最適化、病棟再編
 - ・ 稼働病床数：281床 ⇒ 229床（令和6年12月1日付け 52床削減）
 - ・ 病床利用率：58.8%（令和6年11月）⇒ 77.2%（令和7年1月）
- 公立病院等との機能分化
 - ・ 日南市長・串間市長を訪問の上、今後の連携強化を依頼
（日南市訪問：令和6年7月31日、串間市訪問：令和6年8月26日）
 - ・ 次期地域医療構想を見据えた公立病院のあり方に関する研修会を開催

○ 更なる経営改善の取組（効果額5.5億円）

※ 金額は令和6年度と比較した令和12年度における取組効果の見込額を記載

〈収益の確保〉

- **D P C係数の更なる向上【宮崎病院（令和8年度）】** **1億 500万円 増収**
 - ⇒ “D P C標準病院群”から“D P C特定病院群”への昇格を目指す
 - ⇒ へき地医療拠点病院の指定（令和7年度事業開始）による機能評価係数の向上 等
- **抗がん薬混合調製ロボットの導入【宮崎・延岡病院（令和7年度）】** **2,500万円 増収**
 - ⇒ 薬剤師病棟業務の充実、D P C係数の向上
- **高度急性期医療の拡充【延岡病院（令和7年度）】** **3億 1,000万円 増収**
 - ⇒ H C U（高度急性期病床）の増床（12床→19床）
 - ⇒ 一般病床を16床削減（3西病棟：16床→0床）

〈費用の節減・見直し〉

- **臨床検査の外部委託の見直し【3病院共通（令和7年10月～）】** **3,000万円 節減**
 - ⇒ 委託業者の抜本的見直し
- **放射線治療装置（リニアック）の稼働停止【日南病院（令和7年4月以降）】** **2,100万円 節減**
 - ⇒ 県立病院間の連携・協力の下、放射線治療の実施体制の確保
 - ※将来の機器更新費用等（5.6億円）も節減見込み
- **N I C U・G C Uの規模適正化【日南病院（令和7年度）】** **6,300万円 節減**
 - ⇒ 病床一部休床（10床→3床程度）※N I C U（新生児集中治療室）、G C U（新生児回復室）
- **更なる病棟再編の検討【日南病院（令和7年度）】**
 - ⇒ 令和6年12月の病棟再編（52床削減）の効果を踏まえ検討

1 予算議案

(8) 「宮崎県病院事業経営計画2021」の収支計画の見直しについて

○収支計画【令和6年度見直し版】

《事業収支》 令和12年度の純損益黒字化を維持

(単位：百万円)

区 分	決 算					収支計画										
	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6	令7	令8	令9	令10	令11	令12	令13	令14	令15
純損益	▲ 5	▲ 653	1,344	132	▲ 1,174	▲ 4,284	▲ 2,185	▲ 2,891	▲ 2,434	▲ 1,379	▲ 889	▲ 386	55	262	320	217
経常収支	▲ 449	▲ 884	1,028	44	▲ 1,174	▲ 2,530	▲ 2,185	▲ 2,891	▲ 2,464	▲ 1,379	▲ 889	▲ 386	55	260	320	125
《資金収支》																
償却前損益	664	316	2,240	1,339	2,101	▲ 250	53	▲ 276	▲ 51	1,225	1,567	1,963	2,179	2,366	2,384	2,230
資本的収支	▲ 1,483	▲ 1,461	▲ 1,776	▲ 1,669	▲ 2,100	▲ 2,502	2,796	▲ 2,089	▲ 2,525	▲ 1,678	▲ 1,893	▲ 1,812	▲ 1,637	▲ 1,754	▲ 1,600	▲ 1,875
資金収支	▲ 820	▲ 1,145	464	▲ 331	2	▲ 2,753	2,848	▲ 2,365	▲ 2,576	▲ 454	▲ 325	151	542	613	784	354
賞与引当金等増減額	17	78	124	▲ 3	▲ 16	216	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	0	0	0	0	0
実質的な資金収支	▲ 473	▲ 737	918	▲ 4	316	▲ 2,207	3,295	▲ 2,035	▲ 2,246	▲ 124	5	151	542	613	784	354
《内部留保資金》 令和12年度の借入金返済開始を維持																
損益勘定留保資金残高	1,417	350	938	604	590	▲ 1,947	▲ 3,981	▲ 6,346	▲ 8,922	▲ 9,375	▲ 9,701	▲ 9,550	▲ 8,808	▲ 7,995	▲ 7,011	▲ 6,457
一般会計借入金残高	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400	4,200
退職給付引当金残高	2,740	3,070	3,400	3,730	4,060	4,390	4,720	5,050	5,380	5,710	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040
損益勘定留保資金等残高	4,157	3,420	4,339	4,335	4,650	2,443	5,739	3,704	1,458	1,335	1,340	1,491	2,032	2,645	3,429	3,783
《現金預金残高》 残高プラスを維持																
現金預金残高	5,240	3,779	2,884	2,277	3,243	2,468	4,536	2,501	255	132	136	287	829	1,442	2,226	2,580
《資本の部》																
資本合計	6,777	6,124	7,468	7,600	6,426	2,142	▲ 43	▲ 2,934	▲ 5,368	▲ 6,748	▲ 7,637	▲ 8,023	▲ 7,968	▲ 7,706	▲ 7,386	▲ 7,169
未処分利益剰余金	▲ 6,077	▲ 6,730	▲ 5,386	▲ 5,254	▲ 6,428	▲ 10,712	▲ 12,897	▲ 15,788	▲ 18,222	▲ 19,602	▲ 20,491	▲ 20,877	▲ 20,822	▲ 20,560	▲ 20,240	▲ 20,023
《資金不足比率》 資金不足発生なしを維持																
資金不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※10%以上で起債手続は許可制となり「資金不足等解消計画」策定。20%以上で「経営健全化計画」策定（議決事項）。病院毎ではなく病院事業会計全体の値で判定

《一般会計負担金》

収益的収支	2,937	3,055	6,904	6,351	6,490	3,971	5,599	5,203	4,000	4,616	4,616	4,458	4,458	4,440	4,357	4,060
繰入金	2,853	2,968	3,135	3,139	3,121	3,188	5,427	5,043	3,840	4,456	4,456	4,298	4,298	4,280	4,197	3,900
補助金	84	87	3,769	3,212	3,369	783	172	160	160	160	160	160	160	160	160	160
資本的収支	1,690	1,639	2,352	2,375	2,131	2,909	2,595	2,922	2,995	2,372	1,995	1,871	1,512	1,452	1,518	1,798
繰入金	1,667	1,549	1,946	2,320	1,927	2,547	2,502	2,598	2,995	2,372	1,995	1,871	1,512	1,452	1,518	1,798
補助金	23	90	406	55	204	362	93	324	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,627	4,694	9,256	8,726	8,621	6,879	8,194	8,125	6,996	6,988	6,611	6,330	5,970	5,892	5,875	5,859
繰入金	4,520	4,517	5,081	5,459	5,048	5,734	7,929	7,641	6,836	6,828	6,451	6,170	5,810	5,732	5,715	5,699
補助金	107	177	4,175	3,267	3,573	1,145	265	484	160	160	160	160	160	160	160	160

新型コロナウイルス病床確保料含む

令6補正12億円

令7当初76.4億円

1 予算議案

○収支計画【当初版（令和6年2月議会提出）】

《事業収支》

（単位：百万円）

区 分	決 算					収支計画										
	平30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15
純損益	▲ 5	▲ 653	1,344	132	▲ 1,174	▲ 4,934	▲ 2,577	▲ 2,454	▲ 1,593	▲ 1,461	▲ 837	▲ 269	58	216	296	386
経常収支	▲ 449	▲ 884	1,028	44	▲ 1,174	▲ 3,233	▲ 2,577	▲ 2,454	▲ 1,593	▲ 1,461	▲ 837	▲ 269	58	198	296	293
《資金収支》					純損益黒字化											
償却前損益	664	316	2,240	1,339	2,101	▲ 935	238	493	1,040	1,509	1,768	2,236	2,343	2,461	2,567	2,687
資本的収支	▲ 1,483	▲ 1,461	▲ 1,776	▲ 1,669	▲ 2,100	▲ 2,623	2,556	▲ 2,264	▲ 2,756	▲ 2,020	▲ 2,051	▲ 1,943	▲ 1,693	▲ 1,943	▲ 1,840	▲ 2,264
資金収支	▲ 820	▲ 1,145	464	▲ 331	2	▲ 3,558	2,794	▲ 1,771	▲ 1,716	▲ 511	▲ 283	292	650	518	727	423
賞与引当金等増減額	17	78	124	▲ 3	▲ 16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当金	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	0	0	0	0	0
実質的な資金収支	▲ 473	▲ 737	918	▲ 4	316	▲ 3,228	3,124	▲ 1,441	▲ 1,386	▲ 181	47	292	650	518	727	423
《内部留保資金》					借入金50億円 借入金返済開始2億円/年											
損益勘定留保資金残高	1,417	350	938	604	590	▲ 2,968	▲ 5,174	▲ 6,945	▲ 8,661	▲ 9,172	▲ 9,455	▲ 9,163	▲ 8,313	▲ 7,595	▲ 6,668	▲ 6,045
一般会計借入金残高	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400	4,200
退職給付引当金残高	2,740	3,070	3,400	3,730	4,060	4,390	4,720	5,050	5,380	5,710	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040	6,040
損益勘定留保資金等残高	4,157	3,420	4,339	4,335	4,650	1,422	4,546	3,106	1,720	1,538	1,585	1,878	2,527	3,045	3,772	4,195
《現金預金残高》					債務超過転落											
現金預金残高	5,240	3,779	2,884	2,277	3,243	15	3,139	1,698	312	131	178	470	1,120	1,638	2,365	2,787
《資本の部》					債務超過転落											
資本合計	6,777	6,124	7,468	7,600	6,426	1,492	▲ 1,085	▲ 3,539	▲ 5,131	▲ 6,593	▲ 7,430	▲ 7,699	▲ 7,641	▲ 7,425	▲ 7,130	▲ 6,743
未処分利益剰余金	▲ 6,077	▲ 6,730	▲ 5,386	▲ 5,254	▲ 6,428	▲ 11,362	▲ 13,939	▲ 16,393	▲ 17,985	▲ 19,447	▲ 20,284	▲ 20,553	▲ 20,495	▲ 20,279	▲ 19,983	▲ 19,597
《資金不足比率》																
資金不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※10%以上で起債手続は許可制となり「資金不足等解消計画」策定。20%以上で「経営健全化計画」策定（議決事項）。病院毎ではなく病院事業会計全体の値で判定

《一般会計負担金》

収益的収支	2,937	3,055	6,904	6,351	6,490	3,950	4,362	3,986	3,882	3,742	3,669	3,628	3,604	3,584	3,576	3,553
繰入金	2,853	2,968	3,135	3,139	3,121	3,200	4,223	3,847	3,743	3,603	3,530	3,489	3,465	3,445	3,437	3,414
補助金	84	87	3,769	3,212	3,369	750	139	139	139	139	139	139	139	139	139	139
資本的収支	1,690	1,639	2,352	2,375	2,131	2,546	2,641	2,443	2,829	2,014	1,847	1,746	1,277	1,341	1,454	1,715
繰入金	1,667	1,549	1,946	2,320	1,927	2,534	2,502	2,443	2,829	2,014	1,847	1,746	1,277	1,341	1,454	1,715
補助金	23	90	406	55	204	12	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,627	4,694	9,256	8,726	8,621	6,496	7,003	6,429	6,711	5,756	5,516	5,375	4,881	4,925	5,029	5,268
繰入金	4,520	4,517	5,081	5,459	5,048	5,734	6,725	6,290	6,572	5,617	5,377	5,235	4,742	4,786	4,891	5,129
補助金	107	177	4,175	3,267	3,573	762	278	139	139	139	139	139	139	139	139	139

新型コロナウイルス病床確保料含む

1 予算議案

(9) 決算特別委員会の個別的指摘要望事項に係る対応状況

県立病院について、集患対策を強化することにより持続可能な経営を行うとともに、災害や新興感染症などの非常時にも中核的役割を担うことが期待される公立病院の支援を国に対し、粘り強く求めること。（病院局）

県立病院は、全県あるいは地域の中核病院として、県民に高度で良質な医療を安定的に提供するとともに、災害や感染症の発生など非常時に重要な役割を担うことから、令和6年3月に改定した「宮崎県病院事業経営計画2021」に基づき、経営健全化に向けた取組を強化しております。

収益面では、救急患者の積極的な受入れや、地域の医療機関との連携による集患対策を強化しており、今年度の延入院外来患者数は昨年12月末時点で前年度より約8,500人（1.8%）多く推移しております。

また、物価高騰の影響を極力抑制するため、材料費の圧縮、経費の見直しにより、2億7,300万円程度の費用節減を見込んでおります。

加えて、本県の全国知事会を通じた国への要請が認められ、令和7年度地方財政対策として、公立病院の経営安定化に向けた資金繰りを支援する病院事業債（経営改善推進事業）が新たに創設されるなど地方財政措置の充実が図られることとなりました。

今後とも、令和12年度の純損益黒字化等に向け、更なる経営改善の取組を推進するとともに、全国知事会や病院関係団体と連携し、国に対し、公立病院に対する必要な支援を粘り強く求めてまいります。

2 特別議案

【議案第28号】

宮崎県立病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

経営管理課

1 改正の概要

物価高による維持管理経費等の増加を踏まえ、受益者負担の適正化を図るため、病室使用料及び文書作成手数料の上限額の改定など所要の改正を行う。

2 改正の内容

- (1) 病室使用料の上限額：「17,800円」から「20,400円」に引き上げ
- (2) 文書作成手数料の上限額：「4,400円」から「5,500円」に引き上げ
- (3) ポリオワクチン予防接種料を削除
- (4) 消費税法の一部改正に伴い、第6条第3項の「別表第1」を「別表第2」に改正

3 施行期日

令和7年4月1日

2 特別議案

【議案第47号】

宮崎県病院局専攻医研修資金貸与条例の一部を改正する条例

経営管理課

1 改正の概要

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、関係規定の改正を行う。

2 改正の内容

宮崎県病院局専攻医研修資金貸与条例第10条で、地方公務員の介護休業の根拠として引用している規定を、以下のとおり改正する。

改正前	改正後
(返還の免除) 第10条 [略] (1) 専門研修開始年度の4月1日から起算して10年を経過する日までの間・・・(略)・・・介護休業（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律第2条第2号に規定する介護休業及び同法第61条第6項において読み替えて準用する同条第3項の規定による休業をいう。）・・・ (略)	(返還の免除) 第10条 [略] (1) 専門研修開始年度の4月1日から起算して10年を経過する日までの間・・・(略)・・・介護休業（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律第2条第2号に規定する介護休業及び同法第61条の2第3項の規定による休業をいう。）・・・(略)

3 施行期日

令和7年4月1日